

6 騒音・振動・悪臭関係資料

表6-1-1 一般地域に係る騒音の環境基準（等価騒音レベル）

地域の類型	時間の区分		当該地域
	昼間	夜間	
AA	50デシベル以下	40デシベル以下	療養施設、社会福祉施設等が集合して設置される地域など特に静穏を要する地域
A	55デシベル以下	45デシベル以下	専ら住居の用に供される地域
B	55デシベル以下	45デシベル以下	主として住居の用に供される地域
C	60デシベル以下	50デシベル以下	相当数の住居と併せて商業、工業等の用に供される地域

- (注) 1 地域類型の区分は、おおむね次のとおりである。
 A：都市計画法に基づく第一種、第二種低層住居専用地域、田園住居地域および第一種、第二種中高層住居専用地域
 B：都市計画法に基づく第一種、第二種住居地域および準住居地域
 C：都市計画法に基づく近隣商業地域、商業地域、準工業地域および工業地域
 2 時間の区分は、昼間とは午前6時から午後10時まで、夜間とは午後10時から翌日の午前6時までをいう。

表6-1-2 道路に面する地域に係る騒音の環境基準（等価騒音レベル）

地域の区分	時間の区分	
	昼間	夜間
A地域のうち2車線以上の車線を有する道路に面する地域	60デシベル以下	55デシベル以下
B地域のうち2車線以上の車線を有する道路に面する地域およびC地域のうち車線を有する道路に面する地域	65デシベル以下	60デシベル以下

- (注) 1 AA地域およびA地域の1車線道路に面する地域については、本来道路騒音による影響を受けるべきではないとの考えから、一般地域に係る環境基準値がそのまま適用される。
 2 時間の区分は、一般地域に係る環境基準と同様である。

幹線交通を担う道路に近接する空間に係る特例（等価騒音レベル）

昼間	夜間
70デシベル以下	65デシベル以下

- (注) 1 個別の住居等において騒音の影響を受けやすい面の窓を主として閉めた生活が営まれていると認められるときは、屋内へ透過する騒音に係る基準（昼間：45デシベル以下、夜間：40デシベル以下）によることができる。
 2 幹線交通を担う道路とは、高速自動車国道、一般国道、県道および4車線以上の市町村道をいう。
 3 近接する空間とは、道路端からの距離が、2車線以下の道路にあっては15メートル、2車線を超える道路にあっては20メートルまでをいう。
 4 時間の区分は、一般地域に係る環境基準と同様である。

表 6-1-3 新幹線鉄道騒音に係る環境基準

地域の類型	基準値	当該地域
I	70 デシベル 以下	新幹線鉄道の軌道中心線から両側300メートル以内の区域(以下「沿線区域」という。)のうち、都市計画法(昭和43年法律第100号)第8条第1項第1号の規定に基づく用途地域(以下「用途地域」という。)の定めのある地域については、第1種低層住居専用地域、第2種低層住居専用地域、田園住居地域、第1種中高層住居専用地域、第2種中高層住居専用地域、第1種住居地域、第2種住居地域および準住居地域、用途地域の定めのない地域については、主として住居の用に供される地域
II	75 デシベル 以下	沿線区域のうち、用途地域の定めのある地域については、近隣商業地域、商業地域、準工業地域および工業地域、用途地域の定めのない地域については、主として商工業の用に供される地域

(注) 沿線区域のうち、次の区域については該当区域から除くものとする。

- (1) トンネル区間(ただし、トンネルの出入口からトンネル中央方向150メートルの区間は除く。)
- (2) 河川区域
- (3) 用途地域の定めのない地域のうち、山林、原野、農用地等新幹線鉄道騒音から通常の生活を保全する必要のない地域

表 6-2 騒音規制法に定める自動車騒音の要請限度（等価騒音レベル）

区 域 の 区 分	時 間 の 区 分	
	昼 間	夜 間
a 区域及び b 区域のうち 1 車線を有する道路に面する区域	6 5 デシベル	5 5 デシベル
a 区域のうち 2 車線以上の道路に面する区域	7 0 デシベル	6 5 デシベル
b 区域のうち 2 車線以上の道路に面する区域及び c 区域のうち車線を有する道路に面する区域	7 5 デシベル	7 0 デシベル

(注) (区域の区分) a : おおむね都市計画法に基づく第一種、第二種低層住居専用地域および第一種、第二種中高層住居専用地域
 b : おおむね都市計画法に基づく第一種、第二種住居地域および準住居地域
 c : おおむね都市計画法に基づく近隣商業地域、商業地域、準工業地域および工業地域
 (時間の区分) 一般地域に係る環境基準と同様

幹線交通を担う道路に近接する空間に係る特例（等価騒音レベル）

昼 間	夜 間
7 5 デシベル以下	7 0 デシベル以下

表 6-3 騒音規制法に定める特定工場等から発生する騒音の規制基準

区 域 の 区 分	時 間 の 区 分			
	朝	昼 間	夕	夜 間
第 1 種 区 域	4 5 デシベル	5 0 デシベル	4 0 デシベル	4 0 デシベル
第 2 種 区 域	5 0 デシベル	6 0 デシベル	5 0 デシベル	4 5 デシベル
第 3 種 区 域	6 0 デシベル	6 5 デシベル	6 0 デシベル	5 5 デシベル
第 4 種 区 域	6 5 デシベル	7 0 デシベル	6 5 デシベル	6 0 デシベル

(注) (区域の区分) 第 1 種区域：良好な住居の環境を保全するため、特に静穏の保全を必要とする区域。
 (おおむね都市計画法に基づく第一種低層住居専用地域および第二種低層住居専用地域。)
 第 2 種区域：住居の用に供されているため、静穏の保持を必要とする区域。(おおむね都市計画法に基づく第一種中高層住居専用地域、第二種中高層住居専用地域、第一種住居地域、第二種住居地域および準住居地域。)
 第 3 種区域：住居の用にあわせて、商業、工業等の用に供されている区域であって、その区域内の住民の生活環境を保全するため、騒音の発生を防止する必要がある区域。(おおむね都市計画法に基づく近隣商業地域、商業地域および準工業地域)
 第 4 種区域：主として工業等の用に供されている地域であって、その区域内の住民の生活環境を悪化させないため、著しい騒音の発生を防止する必要がある区域。(おおむね都市計画法に基づく工業地域。)
 (時間の区分) 朝：午前 6 時から午前 8 時まで、昼間：午前 8 時から午後 7 時まで
 夕：午後 7 時から午後 10 時まで、夜間：午後 10 時から翌日の午前 6 時まで
 (そ の 他) 第 2 種区域、第 3 種区域および第 4 種区域内に所在する学校・保育所・病院・患者の収容施設を有する診療所・図書館・特別養護老人ホームの敷地の周囲おおむね 50 メートル以内の区域の規制基準は、当該区域の区分に応じて定める値から 5 デシベルを減じた値とする。

表6-4 騒音規制法に定める特定建設作業に伴って発生する騒音の規制基準

特定建設 作業種類	種類に対する規制基準					備考
	騒音の 大きさ	夜間または 深夜作業 の禁止	1日の 作業時間 の制限	作業時間 の制限	日曜日、 その他の 休日の 作業禁止	
① くい打機、くい抜機またはくい打くい抜機を使用する作業	85 デシベル	第1号区域 午後7時 から翌日の 午前7時 まで 第2号区域 午後10時 から翌日の 午前6時 まで	第1号区域 1日につき 10時間 第2号区域 1日につき 14時間	同一場所 において 連続 6日 間	日曜日、 その他 の休 日	もんけん、圧入式くい打くい抜機またはくい打機をアースオーガーと併用する作業を除く。
② びょう打機を使用する作業						
③ さく岩機を使用する作業						作業地点が連続的に移動する作業にあつては、1日における当該作業に係る二地点間の最大距離が50mを超えない作業に限る。
④ 空気圧縮機を使用する作業						電動機以外の原動機を用いるものであって、その定格出力が15kW以上のものに限る。(さく岩機の動力として使用する作業を除く。)
⑤ コンクリートプラントまたはアスファルトプラントを設けて行う作業						混練機の混練量がコンクリートプラントは、0.45m ³ 以上、アスファルトプラントは、200kg以上のものに限る。(モルタル製造のためにコンクリートプラントを設けて行う作業を除く。)
⑥ バックホウを使用する作業						原動機の定格出力が80kW以上のものに限る。
⑦ トラクターショベルを使用する作業						原動機の定格出力が70kW以上のものに限る。
⑧ ブルドーザーを使用する作業						原動機の定格出力が40kW以上のものに限る。

(注) (区域の区分) 第1号区域：騒音規制法に基づく規制地域の区分の第1種区域、第2種区域および第3種区域の全区ならびに第4種区域で(ア)学校、(イ)保育所、(ウ)病院・患者を収容する施設を有する診療所、(エ)図書館、(オ)特別養護老人ホームの敷地の周囲おおむね80m以内の区域。

第2号区域：騒音規制法に基づく規制地域の区分の第4種区域のうち、第1号区域を除く区域。

(その他) 1 基準値は、特定建設作業の場所の敷地境界線での値である。

2 6から8の作業にあつては、一定の限度を超える大きさの騒音を発生しないものとして環境大臣が指定するものを除く。

表 6-5 福井県公害防止条例に定める特定工場に係る騒音の規制基準

区域の区分	時 間 の 区 分			
	朝	昼 間	夕	夜 間
第 1 種 区 域	4 5 デシベル	5 0 デシベル	4 0 デシベル	4 0 デシベル
第 2 種 区 域	5 0 デシベル	6 0 デシベル	5 0 デシベル	4 5 デシベル
第 3 種 区 域	6 0 デシベル	6 5 デシベル	6 0 デシベル	5 5 デシベル
第 4 種 区 域	6 5 デシベル	7 0 デシベル	6 5 デシベル	6 0 デシベル
第 5 種 区 域	7 0 デシベル	7 5 デシベル	7 0 デシベル	6 5 デシベル
そ の 他 の 区 域	5 5 デシベル	6 0 デシベル	5 5 デシベル	5 5 デシベル

- (注) (区域の区分) 第1種区域： 都市計画法に基づく第一種低層住居専用地域、第二種低層住居専用地域または田園住居地域。
 第2種区域： 都市計画法に基づく第一種中高層住居専用地域、第二種中高層住居専用地域、第一種住居地域、第二種住居地域または準住居地域。
 第3種区域： 都市計画法に基づく近隣商業地域、商業地域または準工業地域。
 第4種区域： 都市計画法に基づく工業地域。
 第5種区域： 都市計画法に基づく工業専用地域。
 その他の区域： 上記に掲げる区域以外の区域。
- (時間の区分) 朝：午前6時から午前8時まで、昼間：午前8時から午後7時まで
 夕：午後7時から午後10時まで、夜間：午後10時から翌日の午前6時まで
- (そ の 他) 第2種区域、第3種区域および第4種区域内に所在する学校・保育所・病院・患者の収容施設を有する診療所・図書館・特別養護老人ホーム・幼保連携型認定こども園の敷地の周囲おおむね50メートル以内の区域の規制基準は、当該区域の区分に応じて定める値から5デシベルを減じた値とする。

表 6-6 福井県公害防止条例に定める深夜における騒音の規制基準

区域の区分	時 間 の 区 分	
	午後11時から翌日午前0時まで	午前0時から午前5時まで
第 1 種 区 域 お よ び 第 2 種 区 域	5 0 デシベル	4 5 デシベル
第 3 種 区 域	6 0 デシベル	5 5 デシベル
第 4 種 区 域、第 5 種 区 域 お よ び そ の 他 の 区 域	5 5 デシベル	5 0 デシベル

- (注) 1 規制の対象は、「飲食店営業（風俗営業法で規制されているものおよび祭礼その他地域の慣習となっている行事における営業を除く。）」、「ボーリング場営業」、「カラオケボックス営業」および「車両洗浄装置を使用または使用させる営業」。
- 2 区域の区分は、特定工場に係る騒音の基準に同じ。

表 6-7 振動規制法に定める道路交通振動の要請限度

区域の区分	時間の区分	
	昼間	夜間
第 1 種 区域	65 デシベル	60 デシベル
第 2 種 区域	70 デシベル	65 デシベル

(注) (区域の区分) 第 1 種区域：騒音規制法に基づく規制地域の区分の第 1 種区域および第 2 種区域
 第 2 種区域：騒音規制法に基づく規制地域の区分の第 3 種区域および第 4 種区域
 (時間の区分) 昼間：午前 6 時から午後 10 時まで、夜間：午後 10 時から翌日の午前 6 時まで
 (その他) 学校・病院等、特に静穏を必要とする施設の周辺の道路における限度は当該値から 5 デシベル減じた値とする。

表 6-8 振動規制法に定める特定工場等から発生する振動の規制基準

区域の区分	時間の区分	
	昼間：午前 6 時から午後 10 時まで	夜間：午後 10 時から翌朝 6 時まで
第 1 種 区域	60 デシベル	55 デシベル
第 2 種 区域	65 デシベル	60 デシベル

(注) 区域の区分および時間の区分は、道路交通振動の要請限度に同じ。

表 6-9 振動規制法に定める特定建設作業に伴って発生する振動の規制基準

特定建設 作業種類	種類に対する規制基準					備考
	振動の 大きさ	夜間または 深夜作業 の禁止	1日の 作業時間 の制限	作業時間 の制限	日曜日、 その他の 休日の 作業禁止	
① くい打機、 くい抜機ま たはくい打 くい抜機を 使用する作 業	75 デシベル	第1号区域 午後7時 から翌日の 午前7時 まで	第1号区域 1日につき 10時間	同一場所 において 連続 6日間	日曜日、 その他の 休日	もんけん、圧入式くい 打機、油圧式くい抜 機、圧入式くい打 くい抜機を除く。
② 鋼球を使用 して建築物 その他の工 作物を破壊 する作業						
③ 舗装版破碎 機を使用す る作業		第2号区域 午後10時 から翌日の 午前6時 まで	第2号区域 1日につき 14時間			作業地点が連続的に移 動する作業にあつて は、1日における当該 作業に係る二地点間の 最大距離が50mを超え ない作業に限る。
④ ブレーカー を使用する 作業						

(注) (区域の区分) 第1号区域：騒音規制法に基づく規制地域の区分の第1種区域、第2種区域および第3種区域の全区ならびに第4種区域で(ア)学校、(イ)保育所、(ウ)病院・患者を収容する施設を有する診療所、(エ)図書館、(オ)特別養護老人ホームの敷地の周囲おおむね80m以内の区域。
第2号区域：騒音規制法に基づく規制地域の区分の第4種区域のうち、第1号区域を除く区域。
(その他) 基準値は、特定建設作業の場所の敷地境界線での値である。

表6-10 自動車交通騒音測定結果(令和3年度)

No.	調査路線名	評価区間	騒音測定地点	測定開始日	騒音測定結果		車線数	評価区間距離(km)	住居戸数(戸)	環境基準達成戸数(戸)			環境基準達成率(%)			実施機関
					昼(dB)	夜(dB)				昼間・夜間とも	昼間に ついて	夜間に ついて	昼間・夜間とも	昼間に ついて	夜間に ついて	
1	北陸自動車道	坂井市丸岡町小黒～丸岡町四郎丸	坂井市丸岡町四ツ柳	R3.10.4	63	61	4	3.4	5	2	5	2	40.0	100	40.0	坂井市
2	北陸自動車道	吉田郡永平寺町松岡領家	-	-	-	-	4	0.9	98	72	84	72	73.5	85.7	73.5	福井県
3	北陸自動車道	吉田郡永平寺町松岡領家～松岡兼定島	永平寺町松岡兼定島	R3.11.29	45	42	4	0.5	192	185	186	185	96.4	96.9	96.4	福井県
4	一般国道8号	あわら市中川～瓜生	あわら市瓜生	R3.7.1	66	59	2	2.7	38	38	38	38	100	100	100	あわら市
5	一般国道8号	敦賀市余座～中	-	-	-	-	4	1.0	18	18	18	18	100	100	100	敦賀市
6	一般国道8号	敦賀市中～坂下	敦賀市深川町	R3.11.4	63	62	4	1.6	65	56	65	56	86.2	100	86.2	敦賀市
7	一般国道27号	敦賀市羽織町～岡山町	-	-	-	-	4	0.4	5	5	5	5	100	100	100	敦賀市
8	一般国道27号	敦賀市羽織町～岡山町	-	-	-	-	4	0.5	36	35	36	35	97.2	100	97.2	敦賀市
9	一般国道27号	三方郡美浜町佐柳～河原市	三方郡美浜町佐柳	R3.11.1	35	31	2	1.2	43	40	43	40	93.0	100	93.0	福井県
10	一般国道27号	三方郡美浜町河原市～郷市	-	-	-	-	2	0.8	47	47	47	47	100	100	100	福井県
11	一般国道27号	郷市～郷市	-	-	-	-	2	0.4	31	31	31	31	100	100	100	福井県
12	一般国道27号	郷市～金山	三方郡美浜町金山	R3.11.1	39	38	2	1.4	51	51	51	51	100	100	100	福井県
13	一般国道162号	小浜市湯岡～大手町	小浜市湯岡	R3.11.16	59	51	2	2.1	133	133	133	133	100	100	100	小浜市
14	一般国道162号	小浜市大手町～北塩屋	-	-	-	-	2	2.0	360	360	360	360	100	100	100	小浜市
15	一般国道162号	小浜市北塩屋～阿納尻	-	-	-	-	2	3.3	213	213	213	213	100	100	100	小浜市
16	主要地方道5号 県道福井加賀線	福井市和田2丁目～中央1丁目	福井市勝見2丁目	R4.3.3	66	57	4	2.4	589	588	589	588	99.8	100	99.8	福井市
17	主要地方道5号 県道福井加賀線	福井市中央1丁目～田原2丁目	福井市順化2丁目	R4.3.3	62	55	6	1.5	389	389	389	389	100	100	100	福井市
18	主要地方道5号 県道福井加賀線	福井市田原2丁目～中角町	-	-	-	-	4	4.2	850	849	849	850	99.9	100	100	福井市
19	主要地方道32号 県道清水美山線	福井市真栗町～今市町	福井市中野3丁目	R4.3.3	60	51	2	5.8	183	180	180	180	98.4	98.4	98.4	福井市
20	一般県道180号 県道東郷福井線	福井市東郷2丁目～東郷中島町	-	-	-	-	2	1.8	119	118	118	119	99.2	99.2	100	福井市
21	一般県道180号 県道東郷福井線	福井市稲津町～下馬2丁目	福井市下馬2丁目	R4.3.3	63	56	2	2.7	116	116	116	116	100	100	100	福井市
22	一般県道180号 県道東郷福井線	福井市板垣3丁目～西木田1丁目	-	-	-	-	2	2.1	585	585	585	585	100	100	100	福井市
23	一般県道190号 小曽原武生線	越前市村岡2丁目～蓬萊町	越前市村岡2丁目	R3.10.26	64	58	2	1.7	341	341	341	341	100	100	100	越前市
24	一般県道228号 県道福井停車場勝見線	福井市日之出1丁目～城東1丁目	福井市手賀2丁目	R4.3.3	57	48	6	0.6	96	96	96	96	100	100	100	福井市
25	一般県道228号 県道福井停車場勝見線	福井市城東1丁目～勝見2丁目	-	-	-	-	4	0.4	128	128	128	128	100	100	100	福井市
26	一般県道229号 福井鯖江線	鯖江市鳥羽3丁目～三六町2丁目	鯖江市丸山町2丁目	R3.9.28	66	60	2	2.4	295	295	295	295	100	100	100	鯖江市
27	一般県道229号 福井鯖江線	鯖江市三六町2丁目～三六町2丁目	-	-	-	-	2	0.4	33	33	33	33	100	100	100	鯖江市
28	都市計画道路 福井東口駅前線	福井市城東1丁目～板垣4丁目	-	-	-	-	4	0.4	130	130	130	130	100	100	100	福井市
29	有定鳥羽線	鯖江市三六町2丁目～鳥羽3丁目	鯖江市幸町1丁目	R3.9.28	64	59	2	2.2	262	262	262	262	100	100	100	鯖江市

評価範囲全体(23区間)

備考 騒音測定地点等に記載がない路線は、他路線の測定結果の準用により評価している。

(資料:環境政策課)

表6-1-1 騒音に係る特定工場等実数および特定施設総数
(令和4年3月31日現在)

施設種類 市町名	1 項 金属加工機械		2 項 空気圧縮機・送風機		3 項 土石用破砕機・ふるい等		4 項 織機		5 項 建設用資材製造機械		7 項 木材加工機械		8 項 抄紙機		9 項 印刷機械		10 項 合成樹脂用射出成形機		11 項 鋳造型機		合計	
	工場数	施設数	工場数	施設数	工場数	施設数	工場数	施設数	工場数	施設数	工場数	施設数	工場数	施設数	工場数	施設数	工場数	施設数	工場数	施設数		
福井市	75	220	215	1,217	5	17	227	5,738	4	5	74	180	1	1	90	326	10	101	2	7	703	7,812
敦賀市	24	95	41	146	0	0	1	50	2	5	15	37	1	1	14	67	1	53	0	0	99	454
小浜市	2	40	11	49	0	0	0	0	0	0	3	13	0	0	7	17	1	7	1	1	25	127
大野市	1	1	3	28	0	0	10	897	0	0	26	39	0	0	5	24	0	0	0	0	45	989
勝山市	0	32	21	126	4	20	85	4,622	0	0	6	30	0	0	0	0	4	16	2	5	122	4,851
鯖江市	22	157	38	124	1	4	145	7,346	5	8	10	23	0	0	8	30	5	10	1	5	235	7,707
あわら市	4	52	12	86	2	2	33	1,035	0	0	3	6	1	1	2	7	0	0	0	0	57	1,189
越前市	75	457	50	645	2	12	116	3,560	6	8	38	109	24	41	20	69	7	31	0	0	338	4,932
坂井市	4	11	9	22	0	0	438	6,526	2	2	12	40	0	0	6	16	1	22	0	0	472	6,639
永平寺町	2	7	7	52	0	0	46	1,452	0	0	2	5	0	0	4	12	0	0	0	0	61	1,528
美浜町	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	3	10	0	0	0	0	0	0	0	0	4	11
高浜町	1	3	10	41	2	2	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14	47
合計	210	1,075	418	2,537	16	57	1,101	31,226	20	29	192	492	27	44	156	568	29	240	6	18	2,175	36,286

(注) 工場数欄において、1つの工場については、主要な特定施設の項1か所のみ計上した。

(資料：環境政策課)

表6-1-2 騒音に係る特定建設作業届出状況

施設種類 市町名	1 項 くい打機等を使用する作業		2 項 びょう打機を使用する作業		3 項 さく岩機を使用する作業		4 項 空気圧縮機を使用する作業		5 項 コンクリートプラント等を敷けて行う作業		6 項 バックホウを使用する作業		7 項 トラクター・ショベルを使用する作業		8 項 ブルドーザーを使用する作業		合計	
	届出数	施設数	届出数	施設数	届出数	施設数	届出数	施設数	届出数	施設数	届出数	施設数	届出数	施設数	届出数	施設数	届出数	施設数
福井市	11	0	0	69	4	0	0	0	0	0	17	0	0	0	0	0	0	101
敦賀市	2	0	0	14	5	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	23
小浜市	1	0	0	2	1	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	6
大野市	1	0	0	3	1	0	0	0	0	3	3	0	0	1	1	0	0	9
勝山市	0	0	0	0	3	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	4
鯖江市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3	0	0	0	0	0	0	3
あわら市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
越前市	3	0	0	12	3	0	0	0	0	11	11	0	0	0	0	0	0	29
坂井市	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	3
南越前町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1
越前町	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
美浜町	0	0	0	3	1	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	6
高浜町	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	2
合計	18	0	0	104	20	0	0	0	0	45	45	0	0	1	1	0	0	188

(資料：環境政策課)

表6-1-3 振動に係る特定工場等実数および特定施設総数

(令和4年3月31日現在)

施設種類	施設数										合計								
	1 項	2 項	3 項	4 項	5 項	6 項	7 項	8 項	9 項	10 項									
金属加工機械	53	147	685	162	87	2,164	0	0	6	7	27	76	0	1	9	118	2	2	3,214
工場施設数	18	91	87	24	1	48	2	4	3	3	6	28	0	0	1	52	0	57	370
圧縮機	2	65	34	7	0	0	0	0	1	1	1	1	0	0	1	7	0	0	108
工場施設数	0	1	21	7	0	897	0	0	2	2	3	19	0	0	0	0	1	1	940
印刷機械	1	7	47	66	4,298	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	6	0	1	4,406
ゴム練等用のローラー機	26	295	72	22	57	2,606	0	0	0	0	5	13	0	5	3	13	1	5	3,017
工場施設数	1	1	6	22	10	315	0	0	0	0	2	7	0	0	0	0	0	0	345
織機	63	314	345	42	95	2,952	0	0	4	4	12	28	1	13	4	30	0	0	3,698
工場施設数	1	1	7	15	248	4,539	0	0	1	2	1	4	0	0	1	22	0	0	4,583
コンクリートブロックマシン等	0	0	0	3	6	1,274	0	0	0	0	4	11	0	0	0	0	0	0	1,291
工場施設数	0	0	0	0	0	0	0	0	3	10	0	0	0	0	0	0	0	0	10
合成樹脂用射出成形機	1	3	16	5	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20
工場施設数	166	924	286	1,350	12	82	625	19,093	20	29	61	187	1	19	23	248	4	66	22,002

(注) 工場数欄において、1つの工場については、主要な特定施設の項1か所のみ計上した。

(資料：環境政策課)

表6-1-4 振動に係る市町別特定建設作業届出状況

(令和3年度)

作業種類	市町名										合計	
	福井市	敦賀市	小浜市	大野市	勝山市	鯖江市	あわら市	越前市	坂井市	美浜町		高浜町
1 項 くい打機等を使用する作業	11	3	1	1	0	1	0	1	0	0	0	18
2 項 鋼球を使用して破壊する作業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3 項 舗装版破砕機を使用する作業	0	0	2	0	0	0	0	0	1	0	0	3
4 項 ブレーカーを使用する作業	63	14	3	3	1	5	0	14	2	4	1	110
合計	74	17	6	4	1	6	0	15	3	4	1	131

(資料：環境政策課)

表6-15 悪臭防止法に基づく規制基準

悪臭物質の種類	規制基準	
	A区域	B区域
アンモニア	1 ppm	2 ppm
メチルメルカプタン	0.002 ppm	0.004 ppm
硫化水素	0.02 ppm	0.06 ppm
硫化メチル	0.01 ppm	0.05 ppm
二硫化メチル	0.009 ppm	0.03 ppm
トリメチルアミン	0.005 ppm	0.02 ppm
アセトアルデヒド	0.05 ppm	0.1 ppm
プロピオンアルデヒド	0.05 ppm	0.1 ppm
ノルマルブチルアルデヒド	0.009 ppm	0.03 ppm
イソブチルアルデヒド	0.02 ppm	0.07 ppm
ノルマルパレルアルデヒド	0.009 ppm	0.02 ppm
イソパレルアルデヒド	0.003 ppm	0.006 ppm
イソブタノール	0.9 ppm	4 ppm
酢酸エチル	3 ppm	7 ppm
メチルイソブチルケトン	1 ppm	3 ppm
トルエン	10 ppm	30 ppm
スチレン	0.4 ppm	0.8 ppm
キシレン	1 ppm	2 ppm
プロピオン酸	0.03 ppm	0.07 ppm
ノルマル酪酸	0.001 ppm	0.002 ppm
ノルマル吉草酸	0.0009 ppm	0.002 ppm
イソ吉草酸	0.001 ppm	0.004 ppm

(注) A区域：都市計画法に基づく用途地域のうち、おおむね第一種低層住居専用地域、第二種低層住居専用地域、第一種中高層住居専用地域、第二種中高層住居専用地域、第一種住居地域、第二種住居地域、準住居地域、近隣商業地域および商業地域ならびにこれらの地域に準ずると考えられる地域。

B区域：都市計画法に基づく用途地域のうち、おおむね準工業地域および工業地域ならびにこれらの地域に準ずると考えられる地域。

表6-16 福井県公害防止条例に定める特定施設に係る悪臭の規制基準

規制基準	臭気指数 18
------	---------

(注) 「臭気指数」とは、人間の嗅覚で臭気を感じることができなくなるまで気体の希釈をした場合に、次の式において算定される値

$$Y = 10 \cdot \log X$$

Y：臭気指数

X：人間の嗅覚で臭気を感じることができなくなるまで気体の希釈をしたときのその希釈の倍数

表6-17 福井県公害防止条例に定める悪臭に係る特定施設

No.	特 定 施 設 の 種 類
1	牛、豚（生後2月未満のものを除く。）または鶏（生後30日未満のものを除く。）の飼養場（牛にあつては10頭以上、豚にあつては50頭（繁殖豚にあつては5頭）以上、鶏にあつては1,000羽以上の飼養の用に供するものに限る。）において用いる施設であつて、次のいずれかに該当するもの ① 飼養施設 ② 飼料調理施設（加熱して調理するものに限る。） ③ ふん尿処理施設
2	けいふんの乾燥または焼却を行う工場において用いる施設であつて、次のいずれかに該当するもの ① 乾燥施設 ② 焼却施設
3	死亡獣畜取扱場において用いる施設であつて、次のいずれかに該当するもの ① 解体室 ② 汚物処理施設 ③ 焼却炉
4	化製場（魚介類または鳥類の肉、皮、骨、臓器等を原料とする飼料等の製造の工場を含む。）において用いる施設であつて次のいずれかに該当するもの ① 原料処理施設（原料貯蔵室および化製室を含む。） ② 煮熟施設 ③ 圧搾施設 ④ 汚物処理施設 ⑤ 乾燥施設

表6-18 悪臭に係る特定施設届出状況（福井県公害防止条例）

（令和4年3月31日現在）

施設種類	1 項		2 項		3 項		4 項		合 計	
	動物の飼養の用に供するもの		けいふんの乾燥または焼却を行う工場において用いるもの		死亡獣畜取扱場において用いるもの		化製場において用いるもの			
市町名	工場数	施設数	工場数	施設数	工場数	施設数	工場数	施設数	実工場数	施設数
福井市	11	44	0	0	0	0	0	0	11	44
敦賀市	10	17	0	0	0	0	0	0	10	17
大野市	4	11	0	0	0	0	0	0	4	11
勝山市	4	16	0	0	0	0	0	0	4	16
あわら市	6	16	1	2	0	0	0	0	6	18
越前市	8	21	1	1	0	0	0	0	9	22
坂井市	26	111	0	0	0	0	0	0	26	111
池田町	4	11	0	0	0	0	0	0	4	11
南越前町	0	0	1	1	0	0	0	0	1	1
越前町	1	1	0	0	0	0	0	0	1	1
美浜町	4	5	0	0	0	0	0	0	4	5
おおい町	1	3	0	0	0	0	0	0	1	3
若狭町	6	12	0	0	0	0	0	0	6	12
合 計	85	268	3	4	0	0	0	0	87	272

（資料：環境政策課）